

新型コロナウイルス感染症患者（56例目）の発生について（第1報）

令和2年4月14日（火）、広島市衛生研究所の検査により、本市14例目～16例目の患者と会食していた接触者の1人が、新型コロナウイルス感染症の患者であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：10歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業等：フリーアルバイター
- (5) 症状：発熱、頭痛、倦怠感（現在、症状なし）

2 検査に至った経緯

- | | |
|----------|--|
| 3月29日（日） | 本市14例目～16例目の患者等と会食 |
| 4月4日（土） | 37.5℃の発熱。A医療機関を受診。インフルエンザB型と診断 |
| 4月5日（日） | 解熱したが、頭痛、倦怠感出現 |
| 4月6日（月） | 症状軽快 |
| 4月13日（月） | 本市14～16例目の患者の接触者として保健センターが検体を採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明 |
| 4月14日（火） | 感染症指定医療機関に入院 |

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はなかった。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。